

活動概要

登録NO	(2) - 33
市町村名	山梨県 甲府市
団体名	山梨県広告美術業協同組合
活動名	良好な景観形成推進するための屋外広告物の現状調査と今後あるべき姿についての研究及び新たなルールや啓発活動の方法の創出と行政への提案

1、活動地区の概要

山梨県の屋外広告物についての現状は、県条例の県民における認知の低さ、現在の社会とのギャップ、啓発や取締りの弱さなどによりルールが守られていない状況が見受けられる。景観法施行に伴い、屋外広告業を営む私たちが中心となり、地域の特徴を活かした「山梨における屋外広告物のあるべき姿」を研究するとともに、より行政と連携を深め、ルールづくりや啓発活動の推進しながら、美しい県土づくりを目指していく。

活動地域として、山梨県甲府市内3地区（上積翠寺地区、鍛冶町地区、百石町地区）を選定した。上積翠寺地区は甲府市の眺望や棚田と調和した田園集落で、景観がすばらしい山里の豊かな自然と武田信玄ゆかりの歴史ある地域である。鍛冶町・百石町地区は甲府市の中心付近に位置しており、それぞれ特徴はあるが歴史的に繁栄した地域である。しかし現在は都市の空洞化が進み高齢者の多い地域になっている。地域の特徴を把握し、地域にあった「屋外広告物のあるべき姿」を粘り強く推進していく。

2、活動内容

① 地域の現状把握の実施（調査体制：組合メンバー・NPO）

- ・甲府市3地区における地域資源や屋外広告物の現状調査を実施。
- ・チェックシートを用いて屋外広告物の問題点を記入し、写真の撮影。



【百石町地区調査風景】

② 地域特性を見つめなおすための住民ワークショップの実施（3地区×3回 計9回）

・住民と実際に町を歩きながら、地域の資源や景観の気になる点を調査していただくために「まちのつばやき通信簿」を配布し、簡単なアンケート方式で記入していただき、その結果をもとに、住民の皆さんと現状の問題点を議論し、抽出された課題について評価した上で、優先課題の改善案の検討を行った。

【上積翠寺地区 優先課題改善案】

- 1、看板の統一 : 案内看板や説明看板、営業的なものなど、機能が様々であり、すべては難しいが、ある程度の統一はしていきたい。
- 2、バス停留所 : 地区の玄関口として整備したい。
- 3、ガードレール : 白のまま、塗り直しが必要。
- 3、遠景 : 素晴らしい風景のPRとビューポイント整備して多くの方に訪れていただきたい。

【鍛冶町地区 優先課題改善案】

- 1、看板の整備 : 古くなった危険な看板の撤去、金山神社の説明板など必要な看板の作成等 看板の整備を行いたい。
- 2、歴史的な建物 : 町の財産として残していくとともに、周辺の看板整備もしたい。
- 3、川周辺の整備 : お城の堀としての説明板製作、一部だけでも柳を復活させて、当時の雰囲気を与えたい。

【百石町地区 優先課題改善案】

- 1、標識や看板 : 古くなって危険な看板のメンテナンスと、必要な看板の設置をしたい。
- 2、町の商店 : 町を全面的に新しくするのではなく、残すべき部分は守っていく必要がある。
- 3、景色 : 高層マンションは、人口が増え活性化につながるがある程度の高さ基準が必要である。



【まちのつばやき通信簿】



【住民とまち歩き通信簿ツアー風景】

住民とのワークショップ まとめ

甲府市は、空襲によって景観が変わってしまった地域が多く、戦前の地域の話をするのできる人材が少なくなっていることがわかり、地域の歴史が日に日に失われていることが実感できた。地域の歴史や文化を資源として発掘し、残していくことが急務であり、その資源を活かしたまちづくりの推進が大切であると考えられる。



【住民とのワークショップ風景】

③ 地区ごとの屋外広告物の問題点・あるべき姿・ルールづくりの検討

上積翠寺地区

【調査結果】

屋外広告物の現状は、ほとんどが公共看板で、民間の看板は主に温泉旅館2軒の誘導サインだ。歴史的な資源が多い地域だけに行政機関が設置した看板が多いが、設置部署の異なった看板が何基も同じ地点に集中して設置されており、統一感がなく、ただ乱立している印象を受けた。またすでに古くなった公共サインも多く、表示がわかりにくいもの、破損したままのもの、景観に調和していないものが見受けられた。民間のサインにも古く取り付けに問題あるサインも見受けられた。全体に統一感がないため、個別にはよいサインもあるがバラバラの印象を受けてしまい、結果的に周囲と調和していない状態になっている。

【課題まとめ】

- 公共・民間課題として
 - ・サインの統一デザインの検討（17点）
 - ・公共サインのメンテナンス検討（16点）
 - ・行政指導・管理（6点）
- 屋外広告業者課題として
 - ・施主に対する周知・啓発を徹底（4点）



【KJ法によるワークショップ風景】



【乱立する公共看板(上積翠寺地区)】

鍛冶町・百石町地区

【調査結果】

鍛冶町の屋外広告物の現状は、特別違和感のある看板は見当たらないが、設置して何年もたっている古い看板が多く目立つ。古いだけでは問題ないのですが、落下の危険や腐食したものなど、危険看板がそのままになっている。看板の高さや道路占有など、一部には問題があるものの、台風等により落下したり倒れたりする恐れのある看板に対する課題が大きいと感じている。

百石町の屋外広告物の現状は、袖看板が多く見られ、看板の高さの基準や、道路等の境界等で申請の問題点も見られるが、ここでも古くなった看板の危険性が大きな問題となっている。改修するか、撤去するかしないといずれ落下の危険がある。また歩道上やフェンス等に簡易的に設置した看板が多く見られたが設置方法に問題が見られた。

【課題まとめ】

- 行政の課題として
 - ・行政の指導（31点）
 - 危険看板に対する指導（16点）
 - 施主に対する啓発・指導（10点）
 - 条例に対する指導（5点）
 - ・パトロールの強化（8点）
 - ・公共サインの管理徹底（0点）
- 屋外広告業者の課題として
 - ・条例の周知、モラルの向上（22点）
 - ・使用する材料の検討と耐久性の把握（1点）
- 施主の課題として
 - ・所有者・施主の責任の徹底（3点）
 - ・景観・色彩に対する意識の向上（0点）



【課題の検討会議風景】

④ 第2回「屋外広告物フォーラム」開催（後援：山梨県・甲府市・山梨日日新聞社・山梨放送）

・昨年に引き続き、山梨の景観や環境に配慮したサインを創出することを目的に、行政、事業者、住民により屋外広告物の問題点やルールの検討し、周知と啓発を目的とする。

- 1部：山梨大学大学院 大山 勲准教授講演 及び 事業活動報告
- 2部：パネルディスカッション 「危険看板について」「民間を含めた統一サインの取り組み」（県美しい県土づくり推進室、甲府副市長、県デザイン協会、組合代表）

⑤ サインハンドブック作成（フォーラムで配布）

・一般の皆様によりわかりやすい屋外広告物のルールについてまとめました。

3、活動の際に悩んだ点

昨年開催した第1回「屋外広告物フォーラム」において私たちは、行政との連携の必要性を深く感じている。今回の事業については甲府市から推薦をいただき、支援対象団体に選定されたが、実際の活動に入ると組合自主的な活動として捉えられ、調査・まち歩き等の活動に行政の参加は無かった。

私たち屋外広告業を営む事業者の集まりとして、今後も粘り強く活動を推進するとともに、行政との連携をはかりながら、屋外広告物に対して私たちに何ができるのか考える「屋外広告研究会」を行政の皆様と立ち上げていきたい。

4、活動の際に工夫した点

私たちは、地域の特徴（歴史、文化、自然、地形、住民）を活かしたまちづくりの一環として屋外広告物がどうあるべきかを考えている。今回、山梨県の地域の資源を住民と発掘をしているNPOつなぐ様の協力を受けることができ、短時間に地域の住民の皆様の貴重な意見をまとめる事が出来ました。

また、今年度より山梨県の屋外広告物主管部署が美しい県土づくり推進室に変わり、私たちの活動に対してご理解をいただき、大変なご協力をいただいている。今年度は始めて県主催の「屋外広告の日」啓発活動に参加し、県内の大型店舗等での屋外広告物条例啓発チラシの配布を行なった。今後も県の事業へは積極的に協力し参加していきたいと考えている。我々の活動の理解を高めて、当組合の地位の向上を目指していく。



第2回
屋外広告物フォーラム
開催のお知らせ

私たち山梨県山梨美術専門学校組合は山梨県における屋外広告物のあり方について研究をすすめてきました。今年、この活動は県土交通局に認められ「美しいまちづくり（まち歩き）の取組推進活動」に認定されました。今回の活動の成果と課題について広く皆様へ伝えようと同時に、今後の屋外広告物について検討を行いたいと考えています。

●日時 2019年 1月22日(土) 19:30~17:00 (受付開始 18:00)
●場所 甲斐市敷島総合文化会館 入場無料

【1部】 ■講演会
講師 山梨大学 大学院 大山 勲 准教授
■「住みよいまちづくり（まち歩き）事業」活動報告
山梨県山梨美術専門学校組合 まちづくり推進委員会

【2部】 ■パネルディスカッション
屋外広告物の現状の抱懸点についての取組み
●司会 山梨県山梨美術専門学校組合 理事長 菅野 浩二 先生
●出席 山梨県 甲府市 山梨日日新聞社 山梨放送

どなたでも自由に観覧できます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【フォーラム開催チラシ】



【啓発チラシ配布風景(山梨日日新聞社)】